



## 盤上を走る

指の神技！

### 常陽銀行支店の

#### 練達者珠算競技

既報常陽銀行高萩原間九支店の珠算競技會は四日午前九時二十分から平町支店樓上で開催、參加人員三十五名で入賞者は左記の如く平支店優勢で頭取賞は石川君(平)が獲得した

1 石川安太郎(平)2 黒澤真(平)3 大森淑男(平)4 佃川信夫(平)5 武石哲夫(平)6 石橋寅吉(平)7 鈴木金雄(高萩)

尙一、二等の石川、黒澤兩君は本店競技會に出場することになった

#### 軍友會の

#### 評議員會

既報平軍友會評議員會は昨

#### オリムピックの旅

【九】

辯護士 松野尾繁雄

八月一日、いよいよ開會式だ。此の日の伯林風景は、既に伯林からの通信で書いたから省略する。全く此の人の波は物すごかつた。これら外國人、お上りさん、が僅か三、四十分位の間に、スタディオンに押しかけ、

感心させられた。

これは結局スタディオンの設備が極めて科學的に出

來てゐるためではあるが一

#### △……往來途上の印象記

尙一、二等の石川、黒澤兩君は本店競技會に出場する

所でかねて横須賀海軍軍需部に菜種油の見本提出

所ではかねて横須賀海軍軍需部に菜種油の見本提出

十罐)の注文に接したので

中であつたがこの程見事合

格、一万リットル(五百五

十罐)の注文に接したので

あるが同榨油所ではさきに

石城販利種合四倉菜種榨油所で第一回開會は、十一月二十日開會の榮ある出場権を獲得したが準々決勝後の戦績は左の如くである

△準々決勝

△準決勝

△準決勝

△準決勝

△準決勝

#### 四倉の菜種榨油

#### 軍部側が大歓迎

も陸軍側に三萬リットルを納入して躍進著しきものが

△準決勝

△準決勝

△準決勝

△準決勝

△準決勝

#### 軍部側が大歓迎

△準決勝

△準決勝

△準決勝

△準決勝

△準決勝

# 颶風に龍表はれ

磐城丸所在不明  
無電の網で海上を搜索

微かにそれらしい應信

何處に漂流か?

本縣所有指導船磐城丸は去  
月廿九日夕刻小名濱を出帆  
經度百四十九度、緯度四十  
一度の海上に於て漁業に從  
事し一萬尾以上の漁獲あつ  
た旨小名濱試驗場に無電通  
報あつて以來三日颶風襲來  
の警報を入手した同試驗場  
は機を逸せず同船に對して各  
呼び戻しに躍起となる内  
同船よりの應信なく遂に何  
れに漂流したのかその消息  
が不明に陥つた爲め試驗場  
は昨日からけふに掛けて各

方面に無電を飛ばし海上搜  
索中颶風一過後の海上は各  
漁船の安否を氣つかず無電  
錯綜して容易にその所在を  
確むる事が出來ず場長以下  
地團太を踏まんばかりに業  
を煮やして居る折柄本日午  
後二時頃磐城丸かららしい  
微かな無電を辛ふじてキヤ  
ツチし得たので幾分愁眉を  
伸したが未だ何處の海上に  
漂流中なるやは判明しない  
と

が刈取前の稻は吹き倒され  
て水びたしになつたものが  
相當に上り被害が多い

勢太夫他  
▼後八・〇〇 俚謡  
▼後八・二五 連續講談「次  
郎長外傳森の石松」第一  
王大江山入 常盤津三東

演習に參加しての所感  
話「十月の理科」理學博士  
元村勲  
▼後六・一五 英語講座 岡  
▼後六・二五 講演「特別大  
演」北軍指揮官陸軍中將三  
毛一夫  
▼後七・三〇 常盤津「四天  
中將下元熊彌  
▼後九・三〇 時報 ニュース  
明日の話題 気象通  
報 番組豫告

席神田ろ山  
▼後九・〇〇 講演「特別大  
演」北軍指揮官陸軍中將三  
毛一夫  
▼後〇・三〇 國民歌謡「お  
市川紅梅他  
▼後二・〇〇 小學生尋三の  
時間 児童劇「二つの玉」  
桃谷中繼  
▼後二・〇〇 大和撫子 阿部幸次他  
▼後二・〇〇 小學生尋三の  
時間 児童劇「二つの玉」  
大阪市高臺校兒童

今晚も明日も北  
西の風晴  
豫報

府  
席  
演習に參加しての所感  
話「十月の理科」理學博士  
元村勲  
▼後六・一五 講演「特別大  
演」北軍指揮官陸軍中將三  
毛一夫  
▼後七・三〇 生活改善講座  
研究會  
▼後六・二五 講演「ハロー  
ニッポンW.T.チルデン  
(通譯星野本社運動部長)  
▼後六・三〇 趣味講演「淡  
路の人形芝居」森田喜代  
門福岡  
▼後八・一五 管絃樂シユ  
「國民の養育」杉本好一  
本徳末(秋田)  
▼後八・一五 管絃樂シユ  
「國民の笑養」杉本好一  
本徳末(秋田)  
▼後八・一五 連續講談「次  
郎長外傳 森の石松」神  
マンの「交響曲第二」日響  
田石山

前七・〇一 舞の修養  
選擇集「井川定藏」  
前六・三〇 家庭講座「毒  
葛と食用毒」今關六也  
▼後〇・〇五 モダン小咄

行場中繼  
智觀兵式御模様 札幌飛  
行場中繼  
早法戰 神宮球場中繼  
▼後六・〇〇 學校劇「つば  
めはどこへ行く」學校劇  
研究會

▼後六・〇〇 講演「ハロー  
ニッポンW.T.チルデン  
(通譯星野本社運動部長)

▼後六・二五 講演「ハロー  
ニッポンW.T.チルデン  
(通譯星野本社運動部長)

▼後六・三〇 趣味講演「淡  
路の人形芝居」森田喜代  
門福岡  
▼後七・三〇 生活改善講座  
研究會

▼後六・二五 講演「ハロー  
ニッポンW.T.チルデン  
(通譯星野本社運動部長)

▼後六・三〇 趣味講演「淡  
路の人形芝居」森田喜代  
門福岡  
▼後六・二五 講演「ハロー  
ニッポンW.T.チルデン  
(通譯星野本社運動部長)

## 稻の収穫に

平地方を襲た

## 六十枚は

渡船で交通

傍らの人家に  
神谷村農試分場傍らの松  
の大樹は吹き倒されて側の  
人家に倒れかゝつたが人家  
の破損は僅少で幸ひ負傷者  
はなかつた

三日午後全縣下を襲つた空  
のヤング颶風は同日午後  
六時に至つて平地方は風速  
實に秒速十七米二の近來稀  
な大強風となり各方面に被  
害續出、屋根ははがれ、板  
塀は破損倒潰、大木等の根  
こそぎに倒されるもの無數

に達して鐵道、警察電話も  
一時は全く全線不通となり  
平驛着常磐線上、下、磐越  
線各列車は何れも多少の遅  
延を見た、尙幸ひ風勢強ま  
ると共に降雨は止んだので  
危惧された河川の氾濫はな  
く稻束等の流失はなかつた

昭和人絹制服 錦村  
のためこの程男女全從業員

傍晚の人家に  
れ且つ柿樹も吹き落さ  
れものが相當多數に上つてゐ  
るため被害莫大の見込で目  
下取調査中

六十枚は  
草野、夏井間夏井川に架か  
る六十枚橋假橋は強風で  
上板を吹き飛ばされ交通杜  
絶、日下渡船で交通されて  
ゐる

江名の運動會 江名  
秋季運動會を催す

江名の運動會 江名  
□確實敏捷は

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九・九九

夫の熟睡中  
娘を連れて逃走

伊達郡梁川町字上町八島長  
次郎妻ケサノ(五)は去る八  
月八日夜九時頃夫の熟睡中  
娘のチヨ(一)を連れて家出  
立廻りたる旨音信ありたる  
ため本五日平署へ捜査方願  
ひ出た

知人の江名町大字中之作鉈  
木ふさ方から去る十七日夜  
立廻りたる旨音信ありたる  
ため本五日平署へ捜査方願  
ひ出た

△クリーニング職工 四十  
才迄 給住込十五圓 通勤  
二十十五圓  
△採炭夫 卅五才迄 納料  
一圓

△勤労二十十五圓  
△倉庫 四十才迄 月給七  
△給仕 十五才 高卒

## 松の大木

区長殺し早くも一週忘  
記

夫の熟睡中  
娘を連れて逃走

伊達郡梁川町字上町八島長  
次郎妻ケサノ(五)は去る八  
月八日夜九時頃夫の熟睡中  
娘のチヨ(一)を連れて家出  
立廻りたる旨音信ありたる  
ため本五日平署へ捜査方願  
ひ出た

△クリーニング職工 四十  
才迄 給住込十五圓 通勤  
二十十五圓  
△採炭夫 卅五才迄 納料  
一圓

△勤労二十十五圓  
△倉庫 四十才迄 月給七  
△給仕 十五才 高卒

柿樹も  
吹倒さる

浮めぬ佛の  
靈を慰めて

平署者から香華料

前八時から同校庭で秋季運  
動會

△常高等小學校は十三日午  
前

○「それは面白な事が出来ましたね、毒を食物の中へ入れて食させるは容易い事ですが、こゝに來たその人たちが一時に食べたならば來ただけの人を残らず殺す事も出来るですが、大勢の事だで中には食べぬ人もあるだ、その食べぬ人は毒に中つて苦しむ人々を見ればこれは變だ、さてはこの食物の中に毒を仕掛けて殺す企みであつたか憎い奴だ

村役『さてみんなの衆、お前  
がたも聞く通り御領主様の  
御家來より毒薬をあづかつ  
た、これはあとを追ふて來  
る敵兵に飲ませろといおい  
て行きなすつた、飲ませぬ  
時は村役人は勿論この二ヶ  
村の百姓共の首をはねると  
のことだ、何うしたものだ  
らうな』

瓦解する功能 (作)玉國洋道・悟九郎



○「一体その食物には何を  
くだの」  
　　と腹を立つてわしどもを押  
つくるすでございませう』  
　　村役『成る程それは理屈だ  
の、食はねえものは氣がつ

たか憎い奴だとこの村の者  
を生かしてはおくめえ』  
○『えらい事になつたの、  
何うすれば俺共の命が助かる  
のかの』

村役『この上は鎮守様にお  
願ひ申して毒を食べさせた

村役「夫は困つたな、食させねが御領主様の御家の方の爲にこの村の者は首を飛ばす事になる、去りとて命べさせたところで食はぬ、のが毒にあたつて苦しむのを見ればこの村の奴は悪者ばかり揃つてゐて敵の手下だ

神籠の只百姓ではない

○ 村役「大勢の事だで餅でも出すがよからう」

○ 「それはいかねえだ、此處へ来る人には下戸ばかりは居なからう、酒の好な者は餅などは食はえねえだ」

村役『夫では酒の中に入れ事にするだ』

○『まあ待たつせえ、上戸ばかりは居なからう』

と云ひつゝガラ／＼と神籠箱をふつたが、スルりと出た籠、すはこそ御神慮くだつたりと一同それを見ると一百番の凶です、人々はさつと顔色をかへた〇『凶が出るやうでは村のものは助からねえぞ、この

とこれから神主が齊戒して神前にぬかづきのりとなし上げて

○『成る程、苦しい時の神頼みとはこの事であらうが夫では鎮守様に伺ひを立てる事に致しませう』  
と一同打ち揃つて村の鐘守とあがめる仙現様の社に来て神主に此事を注げると神『夫は御心配な事だナ、

# 日本家庭の必備薬ルメフ

			正	正
			シ	シ
		平・田町	イ	喫
			酒	茶
			埠	菴
ラ	ン	サ	ロ	ン
レ	ス	ト	ン	タ
三	五	二	番	三
電				三

正	か	を	店	の只百姓ではない。
シ	れ	連	主	
イ	る	れ	が	
食	日	て	店	
堂		行	昌	

醤油味噌  
たひら正宗  
鱗節食料品

お味噌  
は

# 日本家庭の薬備必備ルメアード

福島縣平町

明治生命磐城代理店

電話一七〇番

あかや洋服店

# 歯科口腔外科

## レントゲン科

## レントゲン科

電話三一通

原善堂藏書